

交渉の議事要旨

(開催日時)

令和元年 8 月 8 日 (木) 16:16 ~ 17:15 (59 分間)

(開催場所)

帯広開発建設部 会議室 A

(出席者)

当局側 (帯広開発建設部)

竹内 正信 (帯広開発建設部長)、千田 澄夫 (帯広開発建設部次長)、

西尾 克則 (総務課長)

職員団体側 (全北海道開発局労働組合帯広支部)

加藤 康德 (執行委員長)、山本 悟史 (副執行委員長)、

村上 敏博 (書記長)、工藤 肇 (執行委員)

(議題)

- 1 当部における超過勤務の縮減について
- 2 当部における育児休業等を取得しやすい職場環境の整備について
- 3 当部庁舎における空調の改善について
- 4 当部における心の健康づくりに関する復職支援の推進について
- 5 当部におけるハラスメントが行われない職場環境の整備について

(要求書に対する回答)

要求書のうち、交渉議題として取り決めた 5 点について回答 (別紙のとおり)。

(要旨)

【議題 1 : 当部における超過勤務の縮減について】

(職員団体) 昨年度の超過勤務の実態及び今年 4 月以降の長時間超過勤務者の状況を確認したい。

(当局) 平均超過勤務時間及び長時間超過勤務者数については、前年同時期と比べて減少している。

(職員団体) 早朝から出勤して業務を行っている実態があるのではないかと。

(当局) 始業時刻に対してどの程度余裕を持って出勤するかは個人差があるので一概には言えないが、フレックスタイム制を活用するなど、職員の勤務時間について柔軟に対応するよう管理者を指導していきたい。

(職員団体) 超過勤務の多い職員に対するフォローや、特定の職員に業務が集中しないよう対応を求める。

(当局) 長時間の超過勤務を行った職員については、定期的に超過勤務の要因を分析し、それぞれの要因に応じた超過勤務縮減方策を実施するとともに、その後のフォローアップや超過勤務の状況をよく把握するよう、管理者を指導しているところである。また、特定の職員に業務が集中することがないように、業務配分の見直しや業務処理等の平準化、効率化など対策を講じるよう、引き続き管理者を指導していきたい。

【議題 2：当部における育児休業等を取得しやすい職場環境の整備について】

（職員団体） 非常勤職員も含め、各種休暇を取得しやすい職場環境整備の推進を求める。

（当 局） 管理者には、率先してポジティブオフを取得するとともに、職員とコミュニケーションを取りながら、業務分担を工夫するなど、職員が休暇を取得しやすい職場環境作りに努めるよう、引き続き指導していきたい。

【議題 3：当部庁舎における空調の改善について】

（職員団体） 分庁舎は庁舎が古いこともあり、特に冬期は執務室内に寒さを感じる箇所もある。放置すれば職員の健康を害する恐れがあるため、当局の対応を求める。

（当 局） 職員の健康安全管理に配慮し、できる限り最適な室温・湿度が保たれるよう努力しているところであるが、今後も状況に応じ、適切に対応していきたい。

【議題 4：当部における心の健康づくりに関する復職支援の推進について】

（職員団体） メンタル系疾患を未然に防ぐ当局の取組を求める。また、メンタル系疾患により病気休職した職員が職場復帰する際は慎重な対応を求める。

（当 局） メンタル系疾患を未然に防ぐことは大変重要であると考えており、心の不調の予防と早期発見、早期対応に努めているところである。また、病気休職している職員の職場復帰に際しては、本人や家族、主治医、健康管理医などと連携し、職場復帰の時期や担当業務の検討を行うとともに、復帰後は、職務遂行状況のフォローアップを行っているところである。メンタル系疾患は再発するケースも多いため、日頃から職員とのコミュニケーションを取りながら、復帰後の勤務状況や精神的・身体的疲労の様子などの把握に努めるよう、管理者を指導しているところである。

【議題 5：当部におけるハラスメントが行われない職場環境の整備について】

（職員団体） 職場においてハラスメントはあってはならないと考えており、ハラスメント防止対策の推進を求める。

（当 局） ハラスメントの防止に当たっては、管理者・職員双方がその問題意識と具体的な行為に関する認識を共有することが重要であると考えており、ハラスメントに関する意識啓発に努めていきたい。また、職員への目配りや気配り、声かけを行い、職場内のコミュニケーションの強化に努めるよう、引き続き管理者を指導していきたい。

※文責は帯広開発建設部当局（今後修正等があり得る。）